

研究員に期待されるミッション

## デジタル化による 業務改善の推進と 将来を担うDX人材の育成

効率アップとサービス向上を目指し、行政事務の現状を調査した上で、業務改善を推進する仕組みを構築。また、将来に向けて持続的なDX推進と地域活性化のために、志の高い若手職員や地域学生の人材育成に取り組んだ。

### ▼ 取り組み内容

**Step 1  
現状把握** 15分間隔の業務量調査を1カ月間、企画課で実施。業務の難易度や効率化の可否などについて精査した。

**Step 2  
課題抽出** Step1の調査をもとに、業務上の課題解決に向け、職員を巻き込みながらアイデアを出し合った。

**Step 3  
対策実施** Step2のアイデアを、デジタル・アナログ問わずできるものから実行し、業務改善につなげた。

**Step 4  
人材育成** 持続的な業務改善やDX推進に向け、役場の職員や町内で学ぶ学生のICTリテラシーを高める講義を実施。

受入企業

穴水町

企画課課長 荒木 秀人 さん

人口7,890人（2020年10月1日現在国勢調査）、面積183平方キロメートル。能登半島の中央部に位置する。農林水産業が盛んで、カキ、ナマコ、メバル、クロダイ、栗などが特産。四季折々の味覚を楽しめる「まいもんまつり」には県内外から大勢の人が訪れる。真言宗の古刹である来迎寺や明泉寺など、見どころも多い。

研究員

奥沢 清 さん

富山県出身。20歳で上京し、KDDIに40年間勤め、車の「つながる化」を推進する日系自動車会社のグローバル通信プラットフォームの構築を手掛けるなど、ソリューションエンジニアとして企業の課題解決にあたってきた。スタートアップに出向し、中国やアメリカで事業の立ち上げなどに携わった経験もある。2022年3月に定年退職した。

共創型企業人材展開プログラム 事例

CASE:

行政事務の  
デジタル化推進と  
DX人材の育成



取り組みの成果  
・  
今後の取り組み

- ・穴水町役場の若手職員、県立穴水高校1年生、ポリテクカレッジ石川の電子情報技術科・生産技術科1年生にDXスキルを身に付けてもらおうと出前講義を実施した。
- ・企画課において一カ月にわたる業務量調査を実施し、業務内容を見える化した。
- ・上記調査の結果をもとに、業務改善に向け課題を解決するための約100件のアイデアを職員と出し合い、可能なものから実行。今後、取り組みを他部署へ横展開するためのベースを整えた。

企業の評価・今後の関わり方

参加理由

- ・他の自治体同様、穴水町でもDXが喫緊の課題です。昨年2月に就任した町長もデジタル化による住民サービス向上を公約に掲げ、4月にDX推進室を設置しました。一方で情報系の人材を思ったように採用できない現状もあり、アイコックさんからの紹介は渡りに船でした。

評価（成果・社内変化など）

- ・穴水町のDXを支える未来の人材を対象にした出前講義は、面白い取り組みだと感心しました。ポリテクカレッジ石川での講義は地元の新聞2紙やコミュニティチャンネルでも取り上げられ、関心の高さが伺えました。
- ・私たちが感じていた仕事の忙しさを見える化、分析していただき、業務を客観的に見つめ直すいい機会になりました。この結果をもとに、ふるさと納税の業務などを効率化することができました。
- ・駅伝大会に地元チームの一員として参加するなど、奥沢さんは地域に溶け込むことを心がけてくれました。また、町内の魅力を写真でPRしてくれて、私たちも町の良さを再発見できました。

今後の関わり方

- ・奥沢さんとの契約はいったん終了となりますが、穴水町を引き続き支援していただけるとのことなので、退任後も、例えば企画課で試行的に始めた業務改善の取り組みの横展開などについて、オンラインでのアドバイスをお願いしたいと思っています。

研究員の評価・今後の展望

参加理由

- ・就職サイトで本プログラムを知りました。KDDI勤務時、地域の課題解決に向け、高専生にICTスキル講座を行った経験がありますが、コロナ禍のためオンラインがメインで消化不良に感じており、当時培ったノウハウをリアルの場で役立てたいと思い、参加しました。

評価（取り組み・生活）

- ・DXの基本は課題解決です。企画課において業務量調査を実施し、仕事を見える化した上で課題を抽出し、町の職員が知恵を出し合ってデジタルあるいはアナログの手法で解決につなげる仕組みを構築しました。今後は他部署へも広げていってほしいと思っています。
- ・地域活性化の鍵を握るのは人です。ICTを使いこなす人、ICTを技術的に支える人、地元で起業する人を育成すれば、これら三者の連携によって持続的に町を活性化できると考え、役場の職員や学生らのICTリテラシーを向上させる講義を企画、実施しました。
- ・当初は新しい風を吹かせることができればとの思いで町に来ましたが、皆さんの吸収力が高く、どんどん自分のものにしてくれました。

今後の展望

- ・本プログラム終了後は、さいたま市の自宅を拠点にフリーランスのDX推進アドバイザーとして活動します。穴水町との契約は任期満了となりますが、引き続き後方支援できればと考えています。この取り組みは、自分にとって、地域での社会貢献活動と位置付けており、職員の方には、ICTを上手く使いこなすDX人材になってほしいと願っています。